

## 令和6年度 福島県認知症介護実践者研修

1回 7月2日、3日・18日、19日 報告会 8月23日(オンライン)

2回 9月19日、20日・10月4日5日 報告会 11月12日(オンライン)

3回 12月3日、4日・19日20日 報告会 令和7年2月1日(オンライン)

<b>【1日目】</b>	9:00～9:20	受付
	9:20～12:20	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 【講師】福島県認知症介護指導者
	12:20～13:00	昼休み
	13:00～17:00	生活支援のためのケアの演習1 【講師】福島県認知症介護指導者
<b>【2日目】</b>	09:00～10:00	生活支援のためのケアの演習1 【講師】福島県認知症介護指導者
	10:00～11:00	QOLを高める活動と評価の観点 【講師】福島県認知症介護指導者
	11:00～12:30	家族介護者の理解と支援方法 【講師】福島県認知症介護指導者
	12:30～13:15	昼休み
	13:15～14:45	権利擁護の視点に基づく支援 【講師】福島県認知症介護指導者
	14:45～16:45	地域資源の理解とケアへの活用 【講師】福島県認知症介護指導者
<b>職場実習1 (2日間で学んだことを実践する)2週間</b>		
<b>【3日間】</b>	9:20～10:20	学習成果の実践展開と共有 【講師】福島県認知症介護指導者
	10:20～12:20	生活支援のためのケアの演習2(行動・心理症状) 【講師】福島県認知症介護指導者
	12:20～13:05	昼休み
	13:05～15:05	生活支援のためのケアの演習2(行動・心理症状) 【講師】福島県認知症介護指導者
	15:05～17:05	アセスメントとケアの実践の基本 【講師】福島県認知症介護指導者
<b>【4日目】</b>	9:00～12:00	アセスメントとケアの実践の基本 【講師】福島県認知症介護指導者
	12:00～12:45	昼休み
	12:45～16:45	職場実習の課題設定 【講師】福島県認知症介護指導者
<b>職場実習2 (アセスメントとケアの実践)4週間</b>		
	09:00～09:20	受付
<b>【5日目】</b>	09:20～12:30	報告会(職場実習評価)

講義時間には休憩時間も含まれています。

## 福島県認知症介護実践者研修カリキュラム

講義・演習 1,440 分

実習:課題設定 240 分、職場実習前期2週間・後期4週間、実習まとめ 180 分

科目名	目的
認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 (講義・演習:180分)	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的変遷や認知症ケアの理念、原因疾患、中核症状、行動、心理症状(BPSD)の発症原因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。
生活支援のためのケアの演習1 (講義・演習:300分)	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。
QOLを高める活動と評価の観点 (講義・演習:60分)	認知症の人の心理的安定やQOL(生活・人生の質)向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。
家族介護支援者の理解と支援方法 (講義・演習:90分)	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。
権利擁護の視点に基づく支援 (講義・演習:90分)	権利擁護の視点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を高める。
地域資源の理解とケアへの活用 (講義・演習:120分)	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる
学習成果の実践的展開と共有 (講義・演習:60分)	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を獲得。
生活支援のためのケアの演習2(行動・心理症状) (講義・演習:240分)	認知症の行動・心理症状(BPSD)が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で、生活の質が高められるようチームで支援する。
アセスメントとケアの実践の基本 (講義・演習:300分)	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的な視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。
職場実習の課題設定 (講義・演習:240分)	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。
“職場実習(アセスメントとケアの実践) (実習前期2週間・後期4週間)”	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画およびケアの実践を展開できる
“職場実習評価 (講義・演習:180分)”	アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。

講義時間には休憩時間も含まれています。